

研究主題 初任者教諭の育成に関する研究

I 研究の背景とねらい

1 現状と課題

【学校教育における現状と課題】 (1) 児童・生徒の学ぶ意欲の低下 (2) 児童・生徒の規範意識・自立心の低下 (3) いじめ・不登校の深刻な状況 (4) 家庭や地域社会の教育力の低下 (5) 都民の公立学校教育に対する期待の増加 「これからの教員の任用制度について」～新たな職の視点から～ (平成18年7月 東京都教育委員会 教員の職のあり方検討委員会)	【教員をめぐる現状と課題】 (1) 社会構造の急激な変化 (2) 学校や教員に対する期待の高まり (3) 教員に対する信頼の揺らぎ (4) 教員の多忙化と同僚性の希薄化 (5) 退職者の増加に伴う量及び質の確保 「今後の教員養成・免許制度の在り方について(答申)」 (平成18年7月 中央教育審議会)
--	--

初任者教諭の教員としての意欲及び資質・能力の向上を図るための教員養成・育成の必要性

2 研究のねらい

- 初任者教諭の職務等に関する意識調査を行い、初任者教諭育成上の課題を把握する。
- 各学校の指導教員等が、初任者教諭の課題をとらえ組織的かつ計画的な育成を図るための指導資料を作成する。

3 研究の方法

(1) 基礎研究

- 教員養成・育成等に関する関係答申等の分析を行い、初任者教諭の育成に関する課題を明らかにする。

【国】

- 平成9年7月 教育職員養成審議会 「新たな時代に向けた教員養成の改善策について(第一次答申)」
- 平成11年12月 教育職員養成審議会 「養成と採用・研修との連携の円滑化について(第三次答申)」
- 平成14年2月 中央教育審議会 「今後の教員免許制度の在り方について(答申)」
- 平成17年10月 中央教育審議会 「新しい時代の義務教育を創造する(答申)」
- 平成18年7月 中央教育審議会 「今後の教員養成・免許制度の在り方について(答申)」

【東京都】

- 平成18年4月 教員任用制度あり方検討委員会 「これからの教員選考・任用制度について」
 - 平成18年7月 教員の職のあり方検討委員会 「これからの教員の任用制度について」
- ～新たな職の視点から～

- 各道府県の初任者研修制度の現状を調査し、研修の在り方について検討する。

(2) 調査研究

① 初任者教諭の職務等に関する意識調査

- ア 調査目的 都内公立学校における初任者教諭の職務等に関する意識調査を行うことで、初任者教諭育成上の課題を把握する。
- イ 調査対象 都内公立小・中学校及び都立学校の初任者教諭及び初任者教諭の指導教員
- ウ 調査方法 質問紙
- エ 実施時期 平成18年12月15日(金)から平成19年1月19日(金)まで
- オ 回答者数
 ・初任者教諭 1,095名(93%)
 ・指導教員 992名(84%)

② 初任者教諭育成のための校内体制に関する聞き取り調査

- ア 調査目的 都内公立小・中学校、都立高等学校、盲・ろう・養護学校の管理職から初任者教諭の育成における指導体制の工夫等について聞き取り調査を行い、指導資料作成の参考とする。
- イ 調査対象 都内公立小・中学校及び都立学校の初任者教諭の指導責任者(校長・副校長)
- ウ 調査方法 学校からの聞き取り
- エ 実施時期 平成18年11月13日(月)から平成19年1月17日(水)まで

II 研究の成果 (指導資料の作成)

意識調査や初任者教諭育成のための校内体制に関する聞き取り調査を基に、初任者教諭の育成を組織的・計画的に進めるための指導資料を作成した。

1 指導資料作成の目的

初任者教諭が感じている職務上の課題を、7観点から分析し、その原因及び背景、育てたい資質・能力を明らかにしながら、課題解決に向けた基本的な考え方と具体的な方策の例を示すことを目的とした。本指導資料を活用することで、指導教員が初任者教諭の育成に関する課題を把握し、育成目標を明確にした指導に資することができるようにする。

2 指導資料の内容について

本指導資料は、下記の3種類の資料を掲載しており、それぞれ初任者教諭の課題を整理しながらまとめたものである。活用にあたっては、初任者教諭の育成の重要性を全教職員で共通理解を図り、一人一人が使命感をもって取り組んでいくことが望ましい。

なお、初任者教諭の職務上の課題は、「授業について」「学級経営について」「他の教員との連携について」「保護者・地域への対応について」「効率的な校務処理について」「資質・能力の向上及び自己管理について」「教師としての在り方について」の7観点から整理した。

- 初任者教諭をめぐる課題と解決に向けた基本的な考え方(指導資料1) (重要) 育成目標を明確に!
 初任者教諭の職務上の課題を、7観点から分析し、育てたい資質・能力や課題解決に向けた基本的な考え方をまとめたものである。本資料を活用することで、指導教員が初任者教諭の課題を把握し、課題解決に向けた基本的な考え方を理解することができる。

課題の項目	育てたい資質・能力	課題	解決に向けた基本的な考え方
ア 授業について	◇教材の特性と児童・生徒の関心とを効果的に関連させて教材化できる。 ◇様々な児童・生徒の反応に対応できるよう多様な指導の仕方を考えることができる。	1 校内研修の内容の見直しと指導時間の確保 2 授業における児童・生徒理解	1 指導教員が初任者教諭とともに、ティームティーチング等を行い、実践を通して指導技術等の向上を図る。 2 OJTなどの研修内容に児童・生徒理解に関するものを盛り込み、意図的、計画的な育成を図る。 3 指導教員の授業や児童・生徒への指導場面を参観し、参観を基にした協議等を行う。

- 初任者教諭の育成にかかわる課題の解決に向けて(指導資料2) (重要) 組織的な指導を!
 初任者教諭の課題の解決に向けて必要な配慮事項や具体的な指導方法を校種に合わせてまとめたものである。本資料を活用することで、組織的に初任者教諭の育成を図ることができる。

学級経営について

育てたい資質・能力
初任者教諭の到達目標を掲載

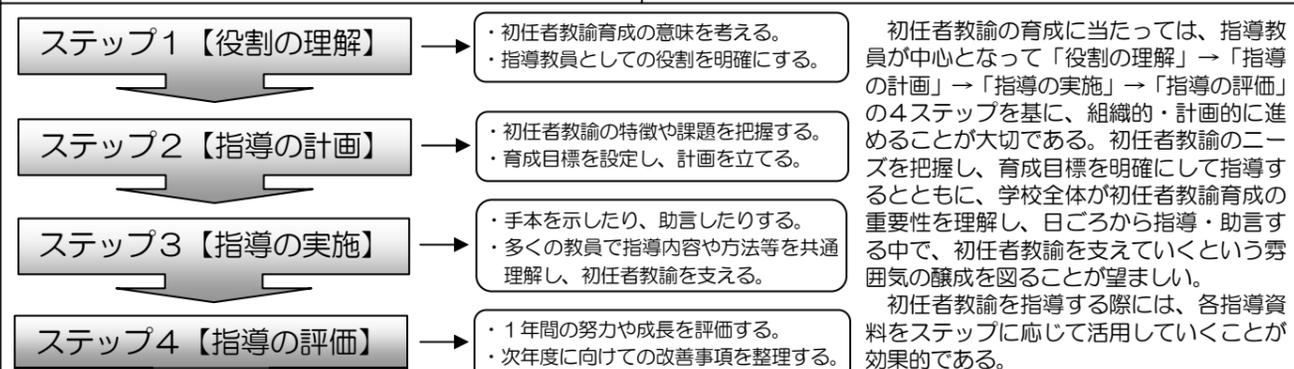
初任者教諭と指導教員の調査結果とその考察を掲載

初任者教諭育成のためにこんな取り組みがあります。

<p>【小学校】</p> <p>校種ごとの初任者教諭と指導教員の意識の分析や必要な指導を掲載します。</p>	<p>校種ごとの指導責任者と指導教員の役割に応じた指導方法や具体的な取り組みについて掲載します。</p>
<p>【中学校・高等学校】</p>	

- 初任者教諭育成カレンダー(指導資料3) (重要) 計画的な育成を!
 各校種ごとに、課題の7観点について年間を通した育成計画を明確にしたものである。本資料を活用することで、管理職や指導教員が計画的に初任者教諭の育成を図ることができる。

3 初任者教諭育成の4ステップと指導資料の活用



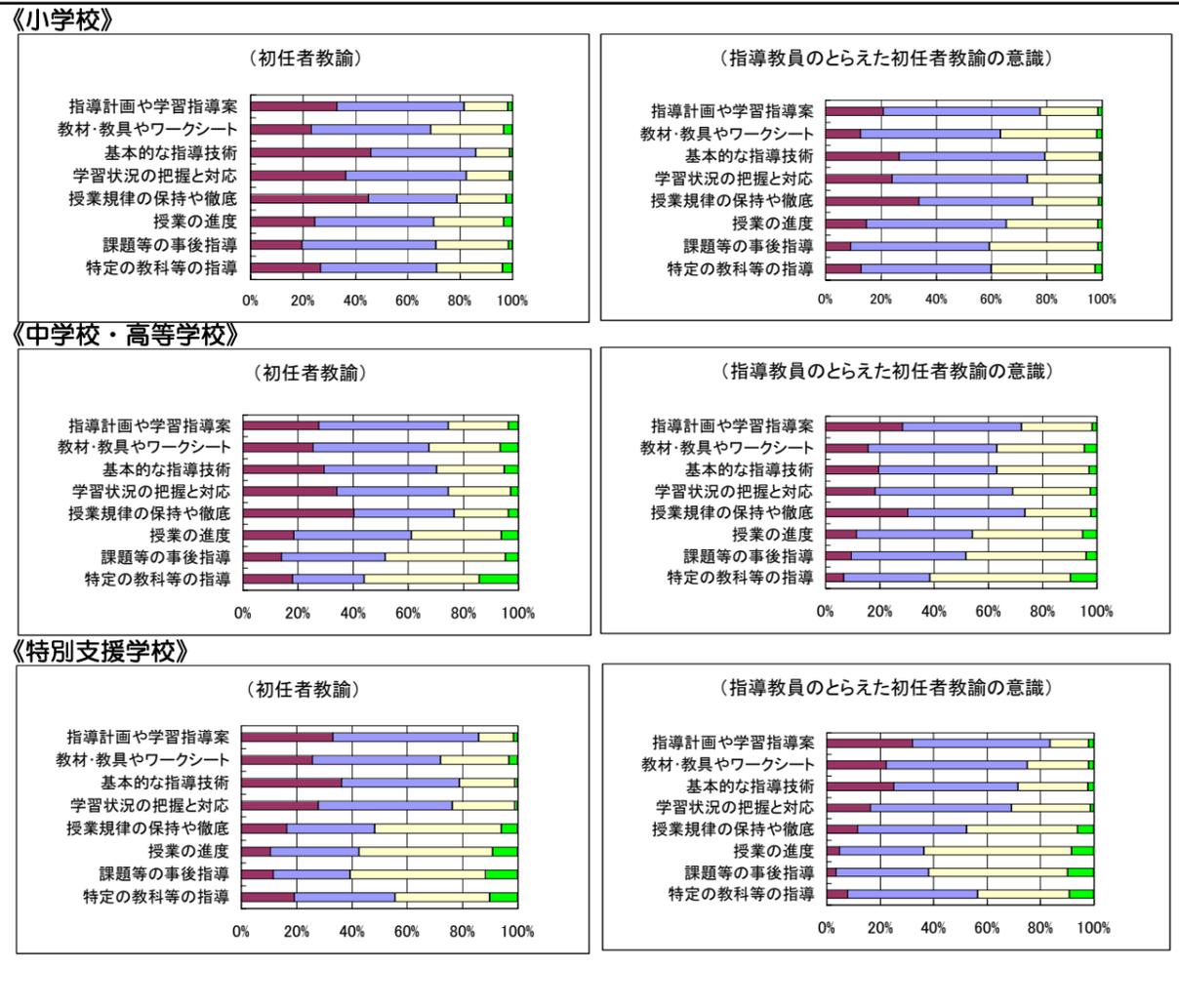
「初任者教諭の育成に関する研究」における調査結果

- (1) 調査目的
都内公立学校における初任者教諭の職務等に関する意識調査を行うことで、初任者教諭育成上の課題を把握する。
- (2) 調査対象
都内公立小・中学校及び都立学校の初任者教諭及び初任者教諭の指導教員
- (3) 調査方法
質問紙
- (4) 実施時期
平成18年12月15日（金）から平成19年1月19日（金）まで
- (5) 回答者数

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	全回答者数
初任者教諭	599	153	147	196	1,095 (93%)
指導教員	551	140	154	147	992 (84%)

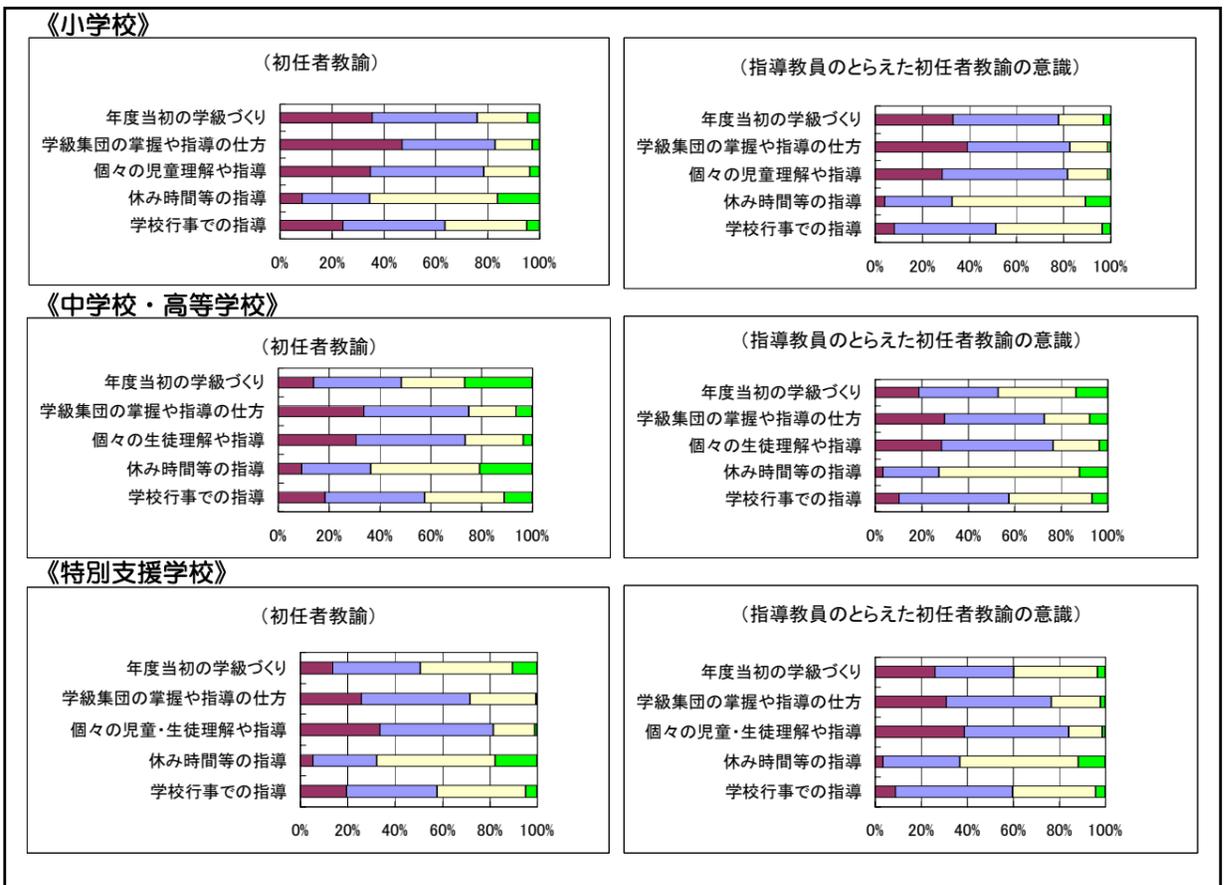
ア 授業について（困難や負担を感じた項目）

■ とても感じている ■ 少し感じている ■ あまり感じていない ■ まったく感じていない

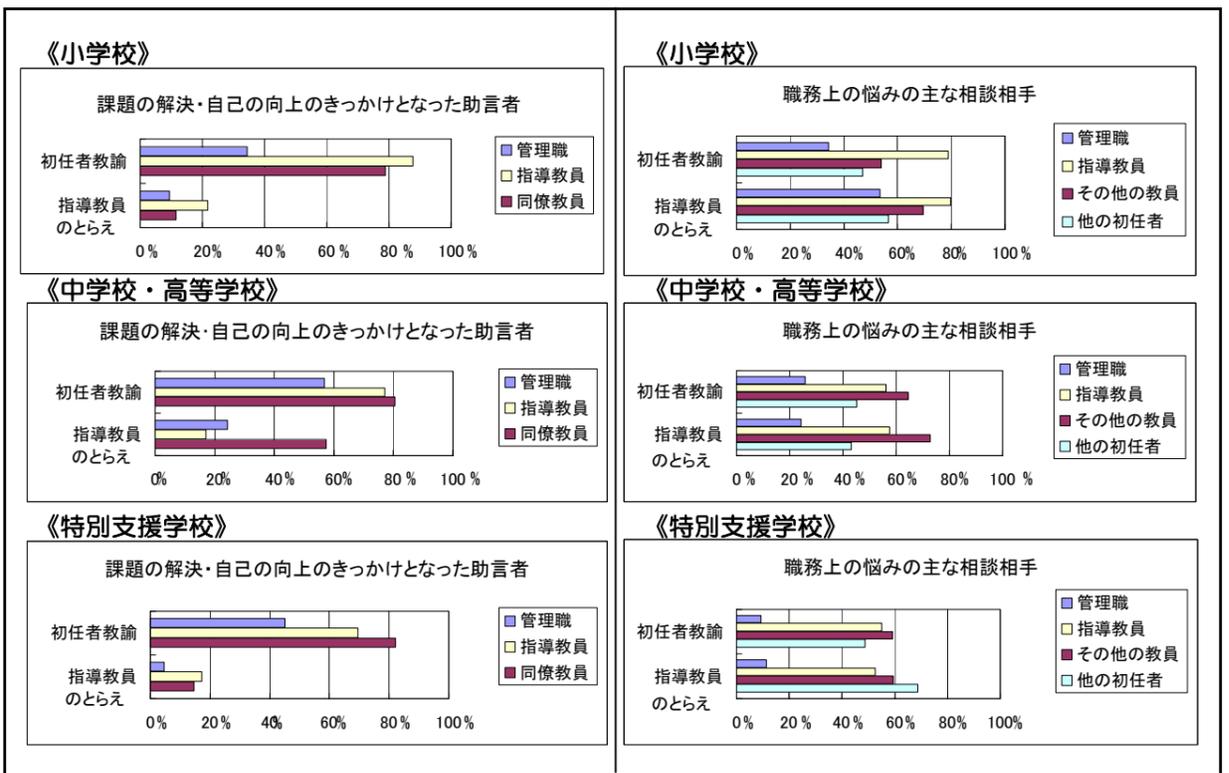


イ 学級経営について（困難や負担を感じた項目）

■ とても感じている ■ 少し感じている ■ あまり感じていない ■ まったく感じていない

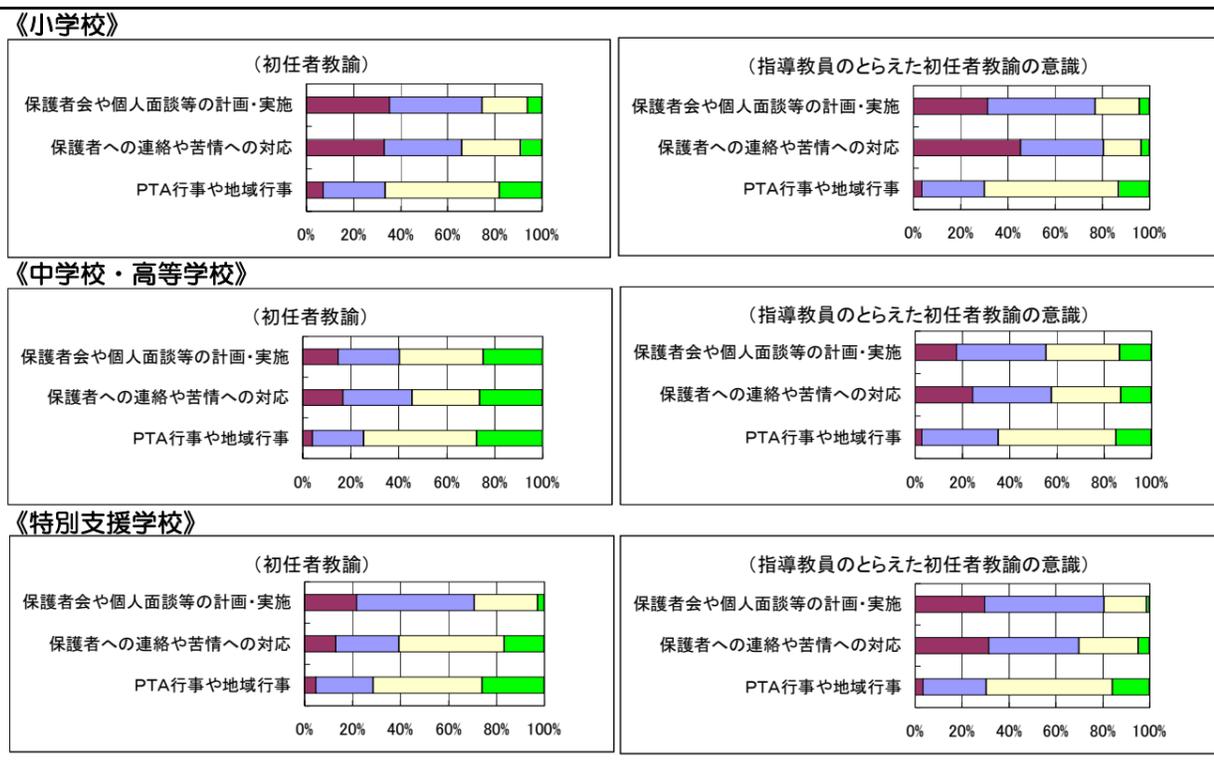


ウ 他の教員との連携について（初任者教諭と指導教員のとらえた初任者教諭の姿）複数回答



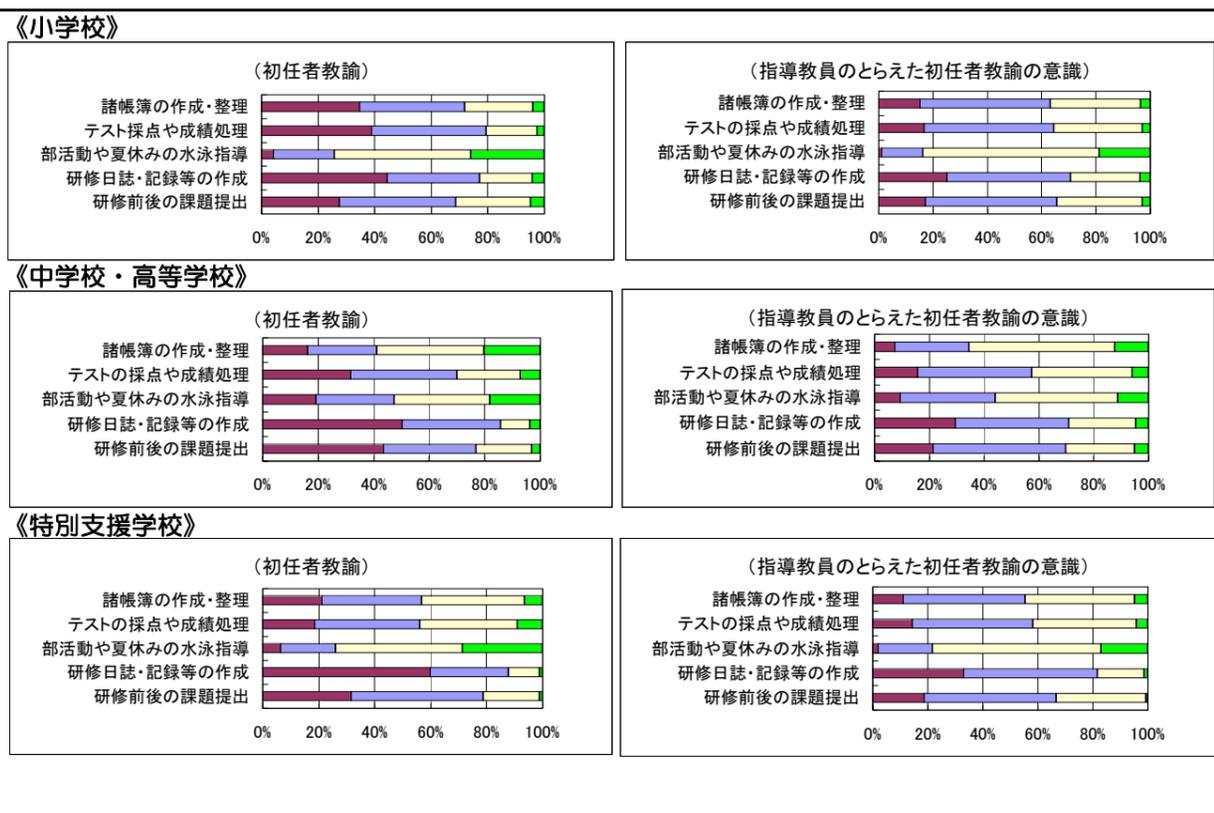
工 保護者・地域への対応について（困難や負担を感じた項目）

■ とても感じている ■ 少し感じている ■ あまり感じていない ■ まったく感じていない

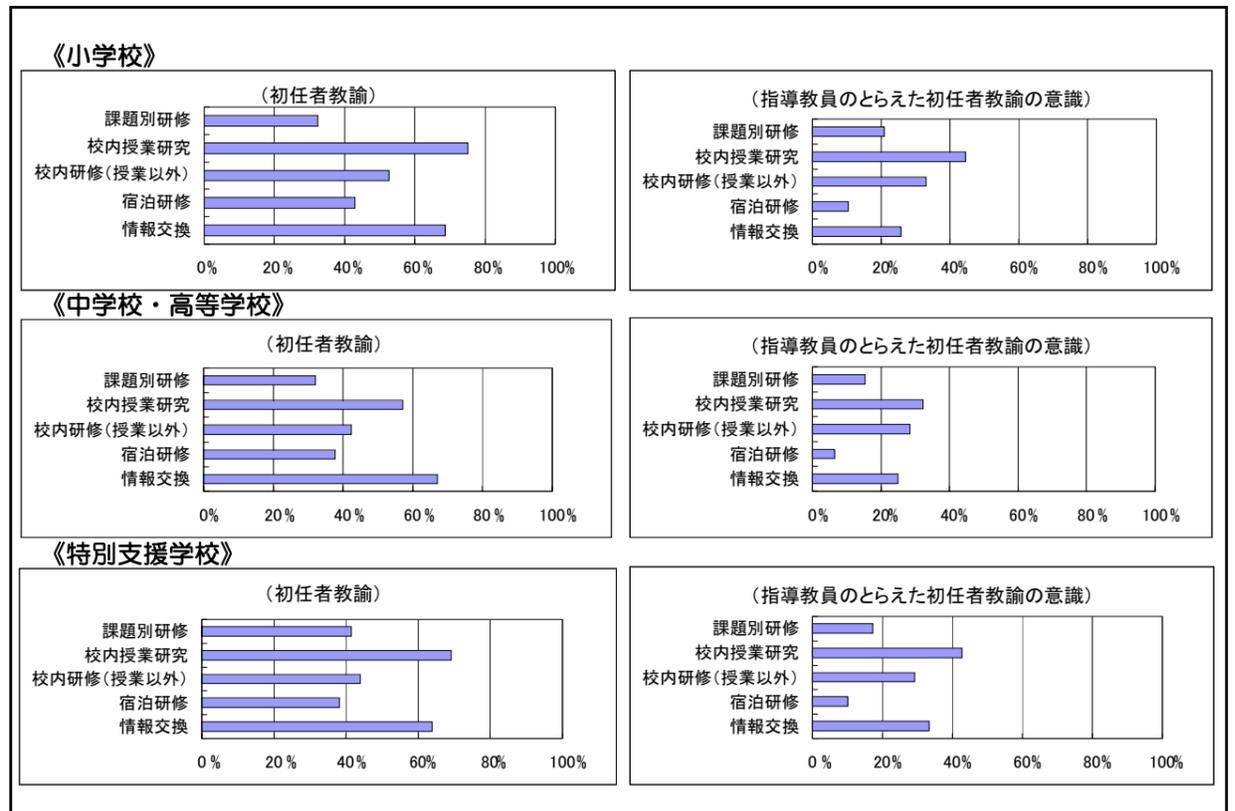


才 効率的な校務処理について（困難や負担を感じた項目）

■ とても感じている ■ 少し感じている ■ あまり感じていない ■ まったく感じていない



力 資質・能力の向上及び自己管理について（課題の解決・自己向上のきっかけ）複数回答



キ 教師としての在り方について

